

第1学年 年間指導計画(美術科)

第1学年 年間45時間	
3学期制の場合	1学期：週1時間を12週（12時間）／2学期：週1時間を4週、週2時間を10週（24時間）／3学期：週1時間を9週（9時間）
2学期制の場合	前期：週1時間を18週（18時間）／後期：週1時間を7週、週2時間を10週（27時間）

学期		時数	分野・領域	題材名		使用する教科書題材	ページ
前期（18時間）	1学期（12時間）	1	オリエンテーション	美術の学び	○自分の身の回りにあるものを改めて見つめなおし、「うつくしい」と感じたものを写真に撮影したり、絵にあらわしたりする。 ○教科の目標と関連させながら、1年間の計画や内容を理解する。	うつくしい！	2～4
						美術って何だろう？	6～7
						美術で学ぶこと	8～9
		5	絵や彫刻など【つくる活動】	本物はどっち？	○石をスケッチして形を把握したあと、粘土で石をあらわす。 ○制作の途中で実物と粘土を並べて置き、正面や側面から観察したり、高さを比べたりして形や質感を把握する。 ○個々の石の色の細かな違いなど、発見したことをもとに表現する。 ○グループで、表現の意図や作品に込めた思いなどを交流し、お互いのよさを感じ取る。	見つめ、感じ取り、描く	10～13
						自然の形や色を見つめて	14～15
		1	絵や彫刻など【鑑賞】	物語をつむぐ	○吉田博「瀬戸内海集 帆船（朝）」から感じ取れることを他者と共有し、この船がどこへ向かおうとしているのか考え、物語を想像する。	絵から物語をつむぐ	20～21
						美術鑑賞を楽しむ手がかり	80
		5	デザインや工芸など【描く活動】	新しい和の模様	○諸外国の模様と日本の模様を比べ、「和」の特徴について考える。 ○自然の中から見つけた形を手がかりに「和」をあらわす連続したパターンを構想し、布面への構成を考える。 ○ゴム版にパターンの一つを彫り、スタンプをつくる。 ○スタンプを使い、布に染色していく。色は日本の伝統色から選ぶ。 ○完成した布を実際に使ってみる。	生活をいろいろの文様	40～43
						形の世界を知ろう	74～75
		6	絵や彫刻など【描く活動】	「宝場所」を探そう	○自分のこれからの生活を想像しながら、学校の敷地内で大切にしておきたい「宝場所」を見つけ、絵であらわす。 ○風景から感じ取ったことをもとに、形や色、構図などを工夫する。 ○完成した作品を互いに鑑賞し、表現の意図や工夫を感じ取る。	心ひかれるこの風景	22～25
後期（27時間）	2学期（24時間）	4	デザインや工芸など【描く活動】	自分をあらわす形と色	○さまざまなシンボルマークを調べて、共通する特徴をまとめる。 ○自分をあらわすにはどんな形や色を用いればよいか考え、缶バッジのデザインとして自分のシンボルマークの構想を練り、あらわす。	文字で楽しく伝える	44～45
						印象に残るシンボルマーク	46～47
		2	鑑賞	美術館で本物に出会おう	○地域の美術館で作品を鑑賞し、作品を1点選ぶ。 ○自分が選んだ作品の作者について調べ、その作者になりきってグループで表現の意図や作品に込めた思いなどを説明する。	美術館を楽しもう	79
		4	デザインや工芸など【描く活動】	私の美術館	○美術館での学習を振り返り、展覧会のテーマの決め方や、作品の配置のしかた、美術館の役割や空間の演出のしかたを知る。 ○展覧会のテーマによる作品の選択、空間の演出のしかたによる見え方の違いなどに気づき、自分でテーマを決めて、展覧会の企画を考える。 ○展覧会の企画に沿って、展示空間の構想を練る。	色や光の特徴を知ろう	76～78
						美術館を楽しもう	79
		5	デザインや工芸など【つくる活動】	カードで気持ちを伝えよう	○カードを送るときの気持ちや、どんなカードをもらおうと嬉しいかを話し合う。 ○自分の気持ちを伝えたい相手を考えて、カードのデザインの構想を練る。 ○紙の加工方法を試し、受け取った人が驚くようなしなげを工夫して表現する。	気持ちを伝えるデザイン	48～49
						紙でつくる	68～69
		3	絵や彫刻など【描く活動】	音に形や色をのせて	○音をどんな線であらわすことができるか、太さや色を変えながら試してみる。 ○自分の好きな曲を、形や色で表現する。その際、歌詞の内容にはあまりこだわらず、曲を聴いたときに感じた自分の思いや印象を形や色にあらわすようにする。	見えないものをあらわす	26～27
	3学期（9時間）	8	デザインや工芸など【つくる活動】	私の箸	○箸を使う文化について、日本以外の国のことも調べて発表する。 ○木の特徴を理解し、自分が使うことを考えて、箸をデザインする。 ○制作中に、何度も自分で使ってみるなどして、持ちやすい形に仕上げていく。	木と親しむ暮らし	54～55
		1	絵や彫刻など【鑑賞】	視線の先を想像して	○ヨハネス・フェルメールの「地理学者」を鑑賞し、描かれている人物は何を見ているのか、どんな気持ちなのかを想像して話し合い、作品の見方や感じ方を広げる。	美術鑑賞を楽しむ手がかり	80～81

第2学年 年間指導計画(美術科)

学期		時数	分野・領域	題材名		使用する教科書題材	ページ
前期 (18時間)	1学期 (12時間)	1	オリエンテーション	美術の世界の広がり	○教科書巻頭と巻末の「うつくしい!」を読み、教科書に掲載されている作品を見たり、1年での学習を振り返ったりして、社会への広がりの中で、美術でどんなことができるのか考える。	うつくしい!	2~4 104~105
		2	絵や彫刻など [描く活動]	この窓を のぞいてごらん	○自分がのぞいた小さな窓からどんな世界を想像するのか、またその世界をのぞいた人にどんなことを感じてほしいかを考え、円形状の紙に表現する。	空想の世界へようこそ	16~17
		5	デザインや工芸など [描く活動]	メッセージを 持ち歩こう	○世の中で使われているマークを参考に、視覚伝達デザインの役割について話し合う。 ○環境問題について調べ、自分が伝えたいメッセージなどをもとにマークを考える。 ○トートバッグに刷って実際に持ち歩くことを考え、マークの大きさや配色を決める。 ○シルクスクリーンでトートバッグにマークを刷る。	メッセージを伝える	56~59
		1	絵や彫刻など [鑑賞]	海を越えて	○北斎の「神奈川沖浪裏」とゴッホの「星月夜」を鑑賞し、構図や描き方の共通点や違いを考える。 ○日本の美術が西洋の美術に与えた影響を、教科書などを参考に調べ、発表し合う。	北斎からゴッホへ	24~31
						海を越えた文化交流	90~93
		3	絵や彫刻など [描く活動]	掛け軸で 未来図を描こう	○掛け軸の構図や表現の工夫について学ぶ。余白の部分に注目し、その意味や効果について考える。 ○墨一色で掛け軸にあらわすことを踏まえ、自分の将来への希望などをもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに、縦長の画面に構図を工夫して描く。	墨で描く楽しさ	22~23
	2学期 (14時間)	6	絵や彫刻など [つくる活動]	一步を踏み出す靴	○さまざまな靴を鑑賞し、人と靴との関わりについて考える。 ○自分の次の一歩がどのようなものであるか考え、主題を生み出す。 ○主題をあらわすために、靴の形や色について構想を練る。 ○紙の特性を生かしながら、実際に履ける大きさの靴をつくる。	今の自分、 これからの自分	44~47
						(参考) 紙でつくる	1年 68~69
		3	絵や彫刻など [描く活動]	動きを感じる4コマ漫画	○日本の漫画の由来を学び、漫画のさまざまな表現方法について鑑賞する。 ○ストーリー展開を考えながら4コマでの表現の構想を練る。 ○4コマの中で、動きをあらわすための効果を工夫しながら描く。	絵巻物と漫画の表現	36~39
						躍動感を捉える	40~41
後期 (17時間)	2学期 (14時間)	5	デザインや工芸など [つくる活動]	光を美しく透かす ランプシェード	○あかりやランプシェードの役割を考える。 ○光を和らげる、照明をホコリから守る、光の方向づけをするなど、ランプシェードの役割に気づき、設置場所による照明の違いを考える。 ○設置場所や用途を考えて、ランプシェードのデザインの構想を練る。 ○ファイバークラフト紙の特性について学び、いろいろな加工を試す。 ○ファイバークラフト紙の特性を生かし、形を工夫して制作する。	あかりがつくる空間	66~67
	3学期 (9時間)	2	絵や彫刻など [鑑賞]	平和への思い	○ピカソの「ゲルニカ」を、全体の色彩や描かれているものに注目して鑑賞し、話し合う。 ○ピカソの生き方や、「ゲルニカ」の制作背景を調べ、どのような思いで作者がこの作品を描いたのか発表し合う。	ゲルニカ、明日への願い	48~55
		7	絵や彫刻など [つくる活動]	思いの形	○思いなど目に見えないものを抽象的に表現した作品を鑑賞する。 ○最初から形を決めてつくるのではなく、材料の粘土に触れながら、自分のあらわしたい思いをどう形にするか考える。 ○あらわした思いは伏せて作品を展示し、どんな思いを表現した作品なのか話し合う。最後に作者が作品に込めた思いを発表する。	形と色の挑戦	32~33

第3学年 年間指導計画(美術科)

第3学年 年間35時間

学期		時数	分野・領域	題材名		使用する教科書題材	ページ	
前期（１８時間）	１学期（１２時間）	8	絵や彫刻など 【つくる活動】	15歳の存在証明	○教科書に掲載されている自分をあらわす作品を鑑賞し、美術にはさまざまな表現方法があることを確認する。 ○マッピングなどを使って今の自分を分析し、現在熱中していることや、思い入れのあるものなどから自分をあらわす形を考え、主題を生み出す。 ○主題をもとに、作品の構想を練り、教科書の巻末資料を参照しながら適切な材料を選択し、表現する。 ○完成した作品を鑑賞し合い、自分が作品に込めた思いを発表する。	今の自分、 これからの自分	44～47	
						発想を広げる	76～77	
						金属でつくる	82	
						石でつくる	83	
						材料の可能性	84～85	
		3	デザインや工芸など 【描く活動】	学校宣伝プロジェクト	○ポスターのデザインや、ウェブのデジタルコンテンツなどを調べ、そこで伝えているメッセージを理解するとともに、学校を宣伝するのに相応しいコンセプトをまとめる。 ○発想したコンセプトに沿って、使うメディアを考え、アイデアスケッチをする。写真などを撮影して取り入れてもよい。	メッセージを伝える	56～59	
写真や映像を撮影する	78～79							
映像で広がる世界	80～81							
1	絵や彫刻など 【鑑賞】	「最後の晩餐」が魅了する理由	○レオナルドの「最後の晩餐」を、トレーシングペーパーに書き込みながら鑑賞し、作者の表現の意図を感じ取り、見方や感じ方を深める。	レオナルドとその時代	10～15			
後期（１７時間）	２学期（１４時間）	6	絵や彫刻など 【描く活動】	ビジュアル・イリュージョン	○鑑賞作品から錯視について学び、「学校の中に異空間をつくる」というテーマで、グループでトリック作品の制作に向けた構想を練る。 ○トリックが、人と作品とカメラのアングルを使った表現であることを理解し、視点を決めて、模造紙にコンテで描く。	あれ？ どうなっているの	20～21	
		6	デザインや工芸など 【つくる活動】	リメイク・デザイン ～新たな命を与える～	○使い捨てが多い社会について考え、リサイクルの大切さを知る。思い入れがあっても使うことができなかったものに新たな価値を与えることができないか考える。 ○鑑賞作品から、作者の意図や表現の工夫を考える。同じ材料を使いどのようなリメイクが可能かを考える。 ○実際に使われなくなったものを集め、新たな用途のものにデザインする。	みんなのためのデザイン	62～63	
						材料の可能性	84～85	
		2	鑑賞	受け継がれる形と思い	○法隆寺五重塔など、教科書に掲載されている日本の世界文化遺産を鑑賞し、なぜそれが現在まで受け継がれてきたのか話し合う。 ○世界文化遺産の建築物を一つ取り上げ、その建築物の特徴や工夫された点を調査し、発表する。	日本の世界文化遺産	100～101	
		3学期（９時間）	6	デザインや工芸など 【つくる活動】	私の街の公園	○自分の住む地域の現状を調査して、どんな公園があるとより暮らしやすくなるかを考える。 ○地域に必要な公園のデザインを考え、環境模型をつくる。	地域の魅力を伝える	70～73
							心安らぐ場をつくる	74～75
3	絵や彫刻など 【描く活動】		記憶に残したい風景と言葉	○中学校生活の中で記憶に残る場所とその理由について考え、実際に見て回りながら撮影場所の選定を行う。 ○アングルや、光の状況を踏まえ、カメラで撮影しながら構図を練る。 ○撮影した写真を、撮影した場所への思いとともに発表する。	風景に思いを重ねて	6～9		
					写真や映像を撮影する	78～79		